



令和2年度の墨坂中学校がスタートしました

【学校長挨拶】

入学式が縮小されたり、2週目から休校になったりと、新型コロナウイルスへの対応が大きな課題となるスタートとなりました。先が見えない中ですが、子どもたちにとって安心、安全な環境と同時に、学びの保障にしっかり対応してまいりたいと思います。

技術革新やグローバル化の進展などにより、社会の変化は加速し、今や唯一絶対の正解など、どこにもない社会になってきていると言われています。その状況における納得解をその都度自力で、あるいは多様な他者と協働して生み出すしかない社会へと移ってきています。

そうした社会に対応できる力、何ができるようになるかという観点での「資質・能力」を、人間の強み（感性、倫理観、調整力、責任感等）をいかしながら、子どもたちに身につけていって欲しいと思っています。そのために、自分で考え、自分で判断し、自分で決定し、自分で行動していくこと、多様性を受け入れ他者と協働すること、他者を尊敬していくこと、自分を好きになれることを大切にしていきたいと思います。墨坂中学校の伝統を生かしつつ、子どもたちが自律的、協働的に、自分たちの力で自分たちの生活をよりよいものにしていくことを願います。そのために、すべての教職員が一丸となって、子どもたちの豊かな学びを、そして成長を支援してまいります。



今年度は、新入生と保護者だけの入学式、2・3年生だけの校長着任式でしたが 凛々しい墨坂中生の姿がありました

【着任式 学校長挨拶】



～前略～さて、墨坂中学校は、今年度創立六十三年目を迎える歴史と伝統ある中学校です。

三月、墨坂中学校を訪れた時、校歌に歌われている「千曲の瀬音の向こうに遥かに望む北信五岳と飛驒の雪」に目を奪われました。また、お会いした先生方の誠実さと温かさに心が暖かくなりました。その時、そうした環境のもとで学ぶ生徒の皆さんに早くお会いしたくなりました。そして今日、その皆さんとお会いすることができ、大変嬉しく思っています。今、皆さんの凛とした姿勢とまっすぐに前を見つめるキラキラした目に、さらに感動しています。このすべての出会いに心から感謝します。

今日から私もこのすばらしい墨坂中学校の仲間に入れていただき、皆さんと一緒に喜び、悲しみも苦しみも共にして、伸び、励み、進み、「われら墨坂中学校」をつくっていくことに誠心誠意、努力していきたいと思います。～後略～

【入学式 学校長式辞】

～前略～さて、今、皆さんには夢がありますか。あるいは、なりたい自分の姿がぼんやりとでも見えていますか。江戸時代が終わろうとしている頃、日本の行く末に大きな影響を与えた「吉田松陰」という人物を知っていますね。六年生の歴史学習で出てきましたね。その吉田松陰は次のように言っています。「志を立てて、以って万事の源となす」と。「志」とは「心に決めた夢や目標に向かって進もうとする気持ち、決心」のことです。つまり、何事をするにも志がなければ、大きな夢も途中でくじけてしまうし、正しいことを貫こうとしても心が折れてしまう。だから、志を立てることが第一であるということです。夢や目標への気持ちが志としてはっきりすれば、自ずとやる気や意欲が湧いて

くるのです。「なりたい自分になる」ためには、自分の支えとなるしっかりとした志をもち、そのために努力を惜しまない行動力や態度が必要となります。

また、「志」とは誰か他の人から教えられたり与えられたりするものではありません。それは自分自身で見つけ出し、つかみ取っていくものです。「志」をもつということは、「自分らしさ」を発見するということでもあります。それは楽しいことばかりではなく、つらい体験や苦しい体験を乗り越えて、真の意味での強さや優しさを身につけていくことでもあります。今日から始まる中学校生活を通して、友だちや先生方とお互いに心を通わせながら、確かな自分の生き方を発見し、進んでいって欲しいと思います。
～後略～



【始業式 学校長の話】

～前略～私の墨坂中学校長としての一番の願いです。生徒の皆さん一人一人が「墨坂中学校が楽しい。墨坂中学校でよかった。」と思える学校にしたいということです。そのための鍵になること、それは、こうしたいという願いを持ったときや、逆に何か問題や悩みにぶつかったときに、自分で考え、自分で判断し、自分で決定し、自分で行動していくことができるか否かということだと思います。

その願いの実現や課題解決の過程で、様々な友と考えをぶつけ合う中で、友の考えや行動を理解したり、共通点を見つけたり、違う点をハッキリさせたりして、更に考えを深めていくことです。その中には前の三溝校長先生が言われ続けた「リスペクト アザース 友を敬うこと」が含まれています。そして、そうした願いの実現や課題解決の力がついてこそ、自分も捨てたもんじゃないなと思える、つまり自分を好きになれるのだと思います。つまり、「リスペクト マイセルフ」につながります。

「自ら問題を解決していく力」、「他人を敬うこと」、「自分を好きになること」これらをこれから始まる生活、授業、部活、生徒会活動の中で培っていって欲しいと思います。この3つのことを身につけていった先には、学校教育目標の具現、つまり「強く」なり、「賢く」なり、「共育ち」できると思います。～後略～

【墨坂中学校新任職員】令和2年度の人事異動で、次の職員が着任しましたので、ご紹介します。

職員名	担当	前任校等
坪井 扶司夫	校長	北信教育事務所学校教育課
櫻田 智也	教頭	中信教育事務所学校教育課
伊澤 愛	数学・2学年ローテーション担任	中川村立中川中学校
金原 悠	英語・1年5組担任	須坂市立日野小学校
小林 央	数学・1学年ローテーション担任	須坂市立相森中学校
小林 充代	支援員	須坂市立須坂小学校
滝澤 直子	社会・1年4組担任	伊那養護学校
竹内 正	国語・1学年ローテーション担任	小布施町立小布施中学校
中島 真由美	社会・スズラン学級担任	長野市立篠ノ井西中学校
牧 順彦	理科・1年3組担任	長野市立若穂中学校
山崎 会理	社会・1年2組担任	須坂市立仁礼小学校
栗原 博士	スクールカウンセラー	

○新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」を受けて、須坂市長が「徹底した外出自粛の要請」（人との接触8割減を目標に、不要不急な外出をしない。「家にいる」ことが最善の選択肢）を含むメッセージを発信しました。生徒の皆さんも保護者の皆様も、ご自身とご家族を守る行動を心がけるようにしてください。

○PTA総会中止につき、臨時休業明けの5月12日（火）に「墨坂中学校 PTA 活動計画」を生徒を通じて配付する予定です。今年度はやむを得ずこのような形で PTA 活動をスタートしますがご了承ください。

○学校生活について、心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。学級担任はもちろんのこと、教頭や養護教諭もお話をお伺いします。

（墨坂中学校：TEL 026-245-0564）